

令和 5年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：河川砂防課
 担当名：荒川中流・小山川流域担当
 内線：5135 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P6	社会資本整備総合交付金(河川)事業費		一般会計	土木費	河川費	河川改良費	社会資本整備総合交付金(河川)事業費		
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	河川法第9条、河川法第60条			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11, 13
					分野施策	0103 治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	11-5, 13-1	
1 事業の概要			5 事業説明						
台風や集中豪雨による浸水被害から県民の生命財産を守るため、河川改修や調節池整備を計画的に推進し治水安全度の向上を図る。 ア 河川改修事業 845,400千円 イ 住宅市街地基盤整備事業 △45,216千円			(1) 事業内容 ア 河川改修事業 河川改修や調節池整備などによる総合的な治水対策を実施する 国庫支出金の内定に伴う所要の補正 845,400千円 イ 住宅市街地基盤整備事業 住宅宅地事業に関連した河川改修などを実施する 国庫支出金の内定に伴う所要の補正 △45,216千円 (2) 事業計画 飯盛川(坂戸市)外8箇所 5か年計画目標及び目標値 ・治水対策によって床上浸水被害の解消が想定される家屋数 400棟(R4年度～R8年度の累計) ・河川整備が完了した河川の延長 627km(R2年度末)→640km(R8年度末)						
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2) (国5.5/10・県4.5/10)			(3) 事業効果 河川改修を促進し、時間50mm程度の降雨により発生する洪水を安全に流下させることのできる治水施設を整備することで、浸水被害の軽減を図り、県民の生命や財産を守る。						
3 地方財政措置の状況 公共事業等債 充当率90%(通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×18人=171,000千円									
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額	
決定額	800,184	国庫支出金	諸収入	県債			92	1,954,784	
現計額	1,154,600	532,000	45,000	378,000	622,000	600			

事業内訳書

事業名	社会資本整備総合交付金（河川）事業費		
単位事業名	河川改修事業（社会資本整備総合交付金）	予算額	845,400千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・河川費補助金	400,200	—	社会資本整備総合交付金 補助率 定額
諸収入・河川受託事業収入	45,000	—	中川の橋梁整備に係る久喜市からの負担金
県債・土木債	400,200	—	河川事業債
合計	845,400	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	35,000	—	測量設計業務 中川（久喜市）外1箇所
工事請負費	435,000	—	飯盛川（坂戸市）外3箇所
公有財産購入費	310,400	—	河川改修工事に必要な用地の購入費 飯盛川（坂戸市）外4箇所
補償、補填及び賠償金	65,000	—	物件移転補償費 飯盛川（坂戸市）外4箇所
合計	845,400	—	

単位事業名	住宅市街地盤整備事業(社会資本整備総合交付金)	予算額	△ 45,216千円
-------	-------------------------	-----	------------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 河川費補助金	△23,108	—	社会資本整備総合交付金 補助率 定額
県債・土木債	△22,200	—	河川事業債
一般財源	92	—	
合計	△45,216	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△6,000	—	国費の内定に伴う測量設計費の減
工事請負費	△35,216	—	国費の内定に伴う工事請負費の減
公有財産購入費	△4,000	—	国費の内定に伴う用地購入費の減
合計	△45,216	—	